

## 研究企画委員会

10月10日、JMFI大会議室にて2017年度第2回研究企画委員会を開催しました。同委員会は研究会活動の内容充実と情報共有を目的に、旧リーダー会を発展させて設置したものです。メンバーは研究会の各リーダーと特別会員企業、JMFI役員・事務局で構成されます。

今回は計17名が参加し、①各リーダーより今日までの活動報告、②上記に対する質疑応答、③リーダー、特別会員から今後の研究企画に対する提案事項ほか意見交換、の式次第で議事を進行しました。今回発表された研究の活動状況は次の通りです。

\*

### (1) IoT・リアルタイムに見える化によるシェアリング・ロジスティクス研究会

サプライチェーンにおけるシェアリング・ロジスティクスのプラットフォーム構築のコンセプトのもと、全体グループ会議と3つの研究分科会を開催。加えて同日、各分科会の参加メンバーが集う全体会議を開催し情報共有を実施しました。

### (2) ドライバーの労働環境改善

トータルで労働環境の改善検討を進めることを確認。日用雑貨に加え加工食品などに対象を拡大し、今後は発荷主、着荷主、物流と広範囲のメンバー参加を得て、ドライバーの労働環境悪化の最大の要因の1つである待機時間削減のため、バース予約システム等の共通プラットフォームの形成など、実際の運送改善の研究を行う計画。

### (3) IoTによる物流機材管理研究会

荷主企業、物流サービス企業ほかの参加を得て、物流機材と商品情報を紐付けるためRFIDをどう使っていくのか、現場検証など研究を推進。来年の5月までに実証研究のロードマップを作成する予定。

### (4) 物流現場における省エネルギー施策研究会

電機、精密、機械商社、物流企業などが参加。メンバーの中でも物流現場については、エネルギーの使用に関する状況が把握しきれていない。実態把握のため、次回は工場見学を予定。

### (5) 対災害強靱化研究会

活動状況を報告。目標としては「緊急支援物資のラストワンマイル」のハンドブックの作成を目指し、ハンドブックを基にした研修会の実施と研究を予定。

### (6) マテリアルハンドリング研究会

マテハンの仕事に関わる方が使える、マテハンの実務的なハンドブック、実務辞典の作成を目指す。まとめ方の検討や参加メンバーの呼びかけを行っている。日本物流システム機器協会(JIMH)の会員企業の現役技術者に作成協力を依頼予定。完成まで1年半~2年程度をかける予定。

### (7) AI/ビックデータ/ロボティクス

AIについては勉強会開催のためのメンバーをリクルート中で、早期のWG開催を目指す。ロボット研究にからめ、今年の9月に土木学会に参加しロボット・物流の分科会にて医療

の物流に関する在庫の最適化テーマで論文を発表したこと、まとめたビッグデータの分析を AI 研究に活かす予定と報告。

**(8)在庫指標研究会(仮)**

在庫適正化の要望に応えるため新たに立ち上げ。研究を行い、セミナー等 JMFI の活性化に繋げたい。テストの意味も含めて 6 回を目途に活動予定。現在、コアメンバーを募集中。